



一般社団法人日本薬学生連盟(APS-Japan)

〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷三丁目39番12号渋谷ウエストビル1階

HP : <http://apsjapan.org>



一般社団法人日本薬学生連盟

2019年度 活動報告書

2020年3月31日  
2019年度会長  
近畿大学薬学部4年  
冨本尚史

# 1. 団体概要

---

## I. 団体名称

一般社団法人日本薬学生連盟

## II. 会長

富本尚史(近畿大学薬学部創薬科学科 4 年)

## III. 沿革

1998 年「薬学生の集い」設立

2004 年 第 4 回アジア太平洋薬学生シンポジウム in 東京開催

2011 年 日本薬学生連盟に改名

2013 年 一般社団法人化

2013 年 第 12 回アジア太平洋薬学生シンポジウム in 千葉開催

2014 年 事務所を目黒に移転

2016 年 事務所を渋谷に移転

2018 年 第 17 回アジア太平洋薬学生シンポジウム in 山梨開催

2019 年 20 周年記念式典開催

## IV. 目的

薬学の専門性および発展性に寄与する活動を推進し、薬学生の医療に対する意識や能力の向上をはかることにより、日本および国際社会に貢献すること

## 2. 組織体制

### I. 組織概要

#### 〈役員 8 名〉

会長	富本尚史	近畿大学	4 年
副会長	中尾美波	明治薬科大学	3 年
会計統括理事	近藤康広	鈴鹿医療科学大学	4 年
財務統括理事	泉水まどか	東邦大学	5 年
外務統括理事	高松駿佑	明治薬科大学	3 年
内務統括理事	中村真悠	徳島文理大学	3 年
広報統括理事	小倉由未佳	明治薬科大学	2 年
国際渉外統括理事	明貝怜美	慶應義塾大学	5 年

#### 〈委員長 6 名〉

交換留学委員長	玉城美夕	明治薬科大学	4 年
公衆衛生委員長	植村亮太	名城大学	3 年
薬学教育委員長	今福完	九州保健福祉大学	4 年
地域連携委員長	田中智大	神戸学院大学	2 年
学術委員長	山川碧	愛知学院大学	3 年
PR 委員長	岩崎良太	明治薬科大学	3 年

#### 〈支部長 5 名〉

東北支部長	阿部亨哉	東北医科薬科大学	2 年
関東支部長	遠山大樹	明治薬科大学	3 年
東海支部長	小川恭慧	九州保健福祉大学	3 年
関西支部長	野崎夢菜	摂南大学	3 年
九州支部長	延原さくら	福岡大学	5 年

#### 〈臨時部会長 1 名〉

2019 年会部会長	岸怜央	東京薬科大学	2 年
------------	-----	--------	-----

## II. 会員数

872 人(新規会員数 135 名) (2020 年 3 月 30 日現在)

## III. 協力団体

14 団体

### 【北海道・東北】

Pharm*H	北海道科学大学・北海道医療大学
薬学研究会	岩手医科大学

### 【関東】

BeI's	城西大学
SNU	日本大学
Second Opinion	帝京平成大学
HARVEST	東京薬科大学
ADME	東京理科大学
Yaqoo	東邦大学
$\mu$ stream	明治薬科大学

### 【関西】

医療系同好会 PARC	大阪薬科大学
Papavera	京都薬科大学
やくけん R	立命館大学
P-CUBE	神戸学院大学
漢方研究会	摂南大学

## 3. 事業活動

### I. 活動方針

定款第 3 条に掲げる本団体の目的に沿い、薬学の専門性及び発展性に寄与する活動を推進し、薬学生の医療に対する意識や能力の向上をはかることにより、日本及び国際社会に貢献することを目的とした諸事業を遂行する。

### II. 事業内容

#### ① 定例シンポジウムの開催

##### ○ 新入生歓迎会の開催

令和元年度、薬学部入学者を主な対象者とし、本団体を知り活動を始めるきっかけとなる場として 7 地域（岩手・宮城・東京・石川・大阪・名古屋・岡山・福岡）で実施した。

「Seed ～興味の種を探そう～」をテーマに掲げ、団体紹介や活動紹介に加えて参加した学生同士の交流を促すためにワークショップ企画を開催し、その支部の規模拡大を目指すと同時に支部内での学生の交流を促進するように努めた。

- 岩手新歓  
会場 岩手医科大学矢巾キャンパス  
参加者数 14 名
- 宮城新歓  
会場 マイナビ 宮城支社  
参加者数 5 名
- 東京新歓  
会場 新宿歴史博物館  
参加者数 74 名
- 石川新歓  
会場 北陸大学  
参加者数 10 名

- 愛知新歓                    2019 年 5 月 12 日開催  
会場                            マイナビ 名古屋支社  
参加者数                    33 名
  
- 大阪新歓                    2019 年 4 月 28 日開催  
会場                            賢者屋《大阪梅田》  
参加者数                    47 名
  
- 岡山新歓                    2019 年 5 月 1 日開催  
会場                            岡山市民会館  
参加者数                    15 名
  
- 福岡新歓                    2019 年 5 月 11 日開催  
場所                            あいれふ(健康づくりサポートセンター)  
参加者数                    20 名

○ 薬学生フェスティバルの開催

各支部の上半期の活動報告並びに支部での学生間の情報交換・意見交換を  
活発化する場として、「Show must grow on!!」をテーマとした薬学生フェステ  
ィバルを開催した。薬学生フェスティバルでは、2020 年度支部長の選出も行  
われ、2020 年度東北支部長・関西支部長・九州支部長が決定した。

- 東北薬フェス            2019 年 10 月 19 日開催  
場所                            岩手医科大学矢巾キャンパス  
参加者数                    7 名
  
- 関東薬フェス            2019 年 10 月 27 日開催  
場所                            マイナビルーム竹橋  
参加者数                    60 名
  
- 北陸薬フェス            2019 年 11 月 3 日開催  
場所                            北陸大学太陽が丘キャンパス  
参加者数                    6 名

- 関西薬フェス 2019年10月20日開催  
場所 摂南大学寝屋川キャンパス  
参加者数 34名
  
- 中四国薬フェス 2019年10月26日開催  
場所 とくぎんトモニプラザ  
参加者数 5名
  
- 九州薬フェス 2019年10月5日開催  
場所 福岡市健康サポートセンター  
参加者数 18名

② International Pharmaceutical Students' Federation(IPSF) および Asia Pacific Regional Office(APRO)との連絡協力

年間を通して本団体の加盟する国際学生組織 IPSF(国際薬学生連盟)、APRO(国際薬学生連盟アジア太平洋支部)との協力体制を維持した。特に、下記国際シンポジウムに日本の薬学生を代表して本団体の学生の参加を促した。

- 65<sup>th</sup> IPSF World congress in Rwanda  
日時 2019年7月30日~8月8日  
場所 ルワンダ  
対象 世界中の薬学生

- 18th IPSF Asia Pacific Pharmaceutical Symposium in Indonesia  
日時 2019年7月6日~7月13日  
場所 インドネシア  
対象 アジア太平洋地区の薬学生

③ 国際交流を増進する活動

日本で唯一の薬学生の国際的組織として、薬学生に国際的視野を提供すべく IPSF 公認プログラムである、交換留学制度(Student Exchange Programme;SEP)を遂行した。

- 夏 SEP 2019年8月開催
  - 東海 留学生6名
  - 関西 留学生6名
  - 関東 留学生7名

- 冬 SEP 2019 年 2 月開催
  - 北海道 留学生 3 名
  - 九州 留学生 3 名

④ 公衆衛生に関する活動

本団体は公衆衛生に関する活動として、以下の活動を遂行した。

- 世界禁煙デーキャンペーン
- 世界糖尿病デーキャンペーン
- 薬膳料理イベント
- 医薬品の適正使用及び薬剤師の職能認知向上キャンペーン(PPAC)
- 献血推進キャンペーン
- AIDS 啓発キャンペーン  
AIDS 文化フォーラム 2019 にて「性教育に関するトークセッション」
- 公衆衛生合宿における「HPV ワクチンの討論」の実施

⑤ 薬学教育に関する活動

本団体は薬学教育に関する活動として、以下の活動を遂行した。

- 在宅医療に関する勉強会
- 災害医療合宿
- 病院見学
- 日本社会薬学会での発表

⑥ 学生間の情報交換、意見共有を活発化する手段の提供

本団体は、学生間の情報交換、意見交流を活発化する場として、以下の活動を遂行した。

- FREEM(1 年生交流会)
- 各支部内での交流会

⑦ 関連する学生団体との連絡協力

本団体は、提携団体・関連団体との多職種連携を考える場として以下のイベントを各支部において推進した。

- AMSA-Japan の新歓にて団体紹介
  - IFMSA-Japan の新歓にて団体紹介
- また、他団体との協力により企画したイベントは以下である。
- In Their Shoes プログラム

⑧ 新運営体制の運用

- PR 委員会の発足

旧広報部の仕事をコンパクト化する為、現広報部と PR 委員会の 2 つに分けることで仕事のメリハリ化を図り今年度より発足した。

⑨ その他

○ 広報媒体を利用した情報発信

本団体の SNS などの広報媒体を利用した会員の有益となる情報を発信する  
他、各種関連企業の協力のもと、広報媒体への本団体の活動を掲載した。

● 各種関連企業の広報媒体への記事掲載

i. MIL(エニイクリエイティブ発行)

発行:2019年4月、7月、10月、2020年1月

ii. 薬学生新聞(薬事日報社発行)

発行:2019年5月、7月、9月、11月、2020年1月、3月

iii. 日経 DI オンラインコラム(日経 BP 社発行)

発行:2019年11月、12月

⑩ その他、本団体の目的に沿った活動

本団体は、上記の他に本団体の目的に沿った活動として、以下の活動を遂行した。

○ 学会参加学生のための合宿企画

○ 日本薬学会での学会発表

○ 各協力団体との合同勉強会

⑪ 災害・感染症（新型コロナウイルス）における例年イベントの中止

台風における災害や新型コロナウイルスの流行によりイベントの中止があった  
ことを報告する。対象イベントは以下に示す。

○ 東海支部 薬学生フェスティバル

台風接近に伴い、学生の安全面を考慮し中止した。

○ IMT (International Medical Tour)

渡航時期(3月)に新型コロナウイルス感染症の流行が懸念され、学生の健康  
における安全面を考慮し、中止した。

○ 災害医療合宿

開催時期(3月)に新型コロナウイルス感染症の流行が懸念され、感染拡大防  
止や学生の健康における安全面を考慮し、中止した。

○ 第21回年会～薬学生の集い～ 「Blow the Dandelion」

開催時期(3月)に新型コロナウイルス感染症の流行が懸念され、感染拡大防  
止や学生の健康における安全面を考慮し、中止した。

### III. 運営活動

#### ① 本部会議

組織運営が円滑に進むよう、月例オンラインミーティング(11 回)を開催した。  
また、本部 Face to Face ミーティング(4 回)を実施し、内後半 2 回は次年度本部への引継ぎ会議も実施した。

#### ② 支部長会議

支部本部間での情報共有に努めるため、支部長オンラインミーティングを開催した。

#### ③ 一部の規約変更

運営体制や選挙権の範囲の見直し等の為、一般社団法人日本薬学生連盟入会規約文並びに選挙規約文の改定を行った。

#### ④ 本選挙 2019 年 11 月 9 日開催

2020 年度執行部の選出を行うため、新宿ミライナタワーのマイナビルームにて 2019 年度執行部選挙を遂行した。同日、東海支部長、内務統括理事、国際渉外統括理事、交換留学委員長、薬学教育委員長及び地域連携委員長を除く 2020 年度執行部が決定した。

#### ⑤ 予備選挙 2019 年 12 月 26 日開催

2020 年度東海支部長、内務統括理事、国際渉外統括理事、交換留学委員長、地域連携委員長の選出を行うため、オンラインにて 2019 年度執行部選挙の予備選挙を遂行した。同日、2020 年度東海支部長、内務統括理事、国際渉外統括理事、交換留学委員長、公衆衛生委員長が決定した。

#### ⑥ 2020 年度薬学教育委員会の休止

次期薬学教育委員長候補が不在であり、委員会内のメンバーが顕著に減少していることから、2020 年度薬学教育委員会の休止を決定した。